

# 医療安全・感染対策 合同ニュース



医療の安全委員会  
院内感染対策委員会  
2017年8月発行

**TeamSTEPPS (チームステップス) を活用し、現場でエラーを回避！  
～2017年度医療安全・感染対策合同研修会開催！～**

2007年7月の医療事故の経験から10年が経過し、その教訓をもとに取り組みを継続してきました。今年度は、7月28日に社会教育センターで開催され、「TeamSTEPPS (チームステップス) の現場での具体的な導入事例」と題して、東京慈恵会医科大学付属病院 医療安全管理部 副室長 美島路恵先生を講師に迎え開催しました。全体で240名の参加となりました。

2チャレンジやクロスモニタリングなど参加者アンケートからもすぐに現場で活かせる研修会と感想が多く聞かれていました。今後、組織全体として取り組めるように整備していきたいと考えています。

## アンケートコメントから

・いいにくいこともありますが、患者第一と考え、全体を支えることが医療ミスを減少させると考えました。

具体的な工夫の話が多く、内容を理解しやすかった。具体的事例が多く、事務でも活かせると感じた。

スピークアップ、SBARツールを使ってのコミュニケーションはとても重要だと思いました



## アンケートコメントから(今後現場でどう活かす?)

- ・シミュレーション学習をひらく
- ・医師の協力が必要(コミュニケーション含め)
- ・SBARの活用ができると、チームの理解が深まると思うのでチャレンジしてみたい。
- ・クロスモニタリング活用したいと思います。

たくさんの前向きなご意見ありがとうございました。

状況観察

## スピークアップ

(気づきの発信)

慈恵花子さんの様子が少しおかしいです。診察して頂けませんか？



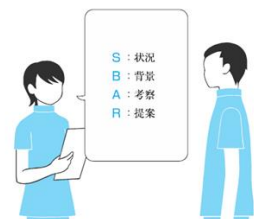
相互支援

## 2チャレンジルール



コミュニケーション

## SBAR



美島先生！わかりやすい講義ありがとうございました！